

健康保険証の廃止に関する政党アンケート

東京歯科保険医協会

2024年10月27日（日）投開票の第50回衆議院議員選挙を前に、協会は各主要政党にアンケートを実施した。テーマは「健康保険証の廃止」。各党の回答は以下の通り。

※公明党はアンケート回答が期限までに得られなかったため、未回答としています。※記述回答は、原文のまま掲載しています。※本アンケートに掲載しているすべての情報は転載禁止とします。

	質問1	質問2	質問3
自民	健康保険証の新規発行終了後、マイナ保険証やオンライン資格確認で発生する トラブルに対して、具体的な解決策を どのようにお考えですか。	健康保険証の新規発行終了についてどのようにお考えですか。 以下の選択肢から1つ選び、その理由も教えてください。 ①従来のように健康保険証だけにすべき ②健康保険証を廃止し、マイナ保険証だけにすべき ③患者の状況に合わせ、現在と同じくマイナ保険証と健康保険証を併用できるようにすべき ④その他	健康保険証の廃止について、 選挙公約に どのように盛り込む予定ですか。 ①健康保険証の廃止期限の見直しの公約を盛り込む ②健康保険証の廃止期限の見直しは行わない公約を盛り込む ③健康保険証の廃止については選挙公約に盛り込まない ④その他
立民	利用率がわずか12%で、様々なトラブルが医療現場で多発する現状を踏まえ、被保険者等であることの確認が安全かつ確実に行われるための環境が整備される等の一定の条件が整うまでは、現在の健康保険証を存続させるべきです。その間、マイナ保険証について発生している様々なトラブルに関しては、その原因を確実に把握し、対応策を講ずるべきです。政府に対し、信頼性や安全性をより高める制度設計を求めるとともに、マイナ保険証に関する政府の考え方を総点検し、それを踏まえた上で、国民の多くが納得できる手順と日程を再構築すべきです。	④その他	④その他
維新	国民生活に大きく影響するシステムにおいてエラーを出すようなことは本来あってはならない。国民に理解を求め、安心して利用できる制度としていくためにも技術力の高い事業者を選定し、エラーを起こさないようシステム改修を確実に行うべきである。	③マイナ保険証と健康保険証を併用	①廃止期限の見直し公約を盛り込む
公明	未回答	未回答	未回答
共産	マイナ保険証をめぐる様々なトラブルは、患者の受療権を脅かし、命にかかると問題を生みかねません。マイナ保険証の強制の中止と健康保険証の存続を求めます。オンライン資格確認についても、医療機関に使用を義務付けた療養担当規則改定を撤廃し、義務化はやめてシステムの全面的な点検・見直しを行うべきと考えます。	③マイナ保険証と健康保険証を併用	①廃止期限の見直し公約を盛り込む
国民	個人情報の流出や悪用を防ぐセキュリティの信頼性を高め、きちんとしたプロセスで政策決定や投資がなされ、濫用を防ぐ実効的なガバナンスの仕組みを定めた上で、マイナンバーやマイナンバーカードによって、政府はどのような社会を実現しようとしているのか青写真を国民と共有し、各種手続きにおける効率化や、利用範囲の拡大、利便性を高めていくことで、支持されると考えます。	④その他	④その他
れいわ	マイナ保険証やオンライン資格確認システムの現場で起きているトラブルに関しては、トラブルの完全撲滅が事実上不可能なことを考えれば、少なくともマイナ保険証への切り替えの強制を直ちにやめるとともに旧来の保険証との併用を認め、バックアップ機能を保障するしかないと考えます。	③マイナ保険証と健康保険証を併用	①廃止期限の見直し公約を盛り込む
社民	システムトラブルが頻発しており、トラブルの解消ができていない現状で、現行の健康保険証を廃止することは、医療現場へ過度な負担を押し付けることになります。現行の健康保険証の廃止をやめるべきです。	③マイナ保険証と健康保険証を併用	①廃止期限の見直し公約を盛り込む
参政	マイナカードへの健康保険証ひもづけと健康保険証の廃止については反対の立場です。両社はひもづけることなく、それぞれしっかりとデジタル管理しておくべきものと考えます。（そもそもマイナンバーは、ゼロベースでセキュリティ的にも堅牢なシステムでつくりなおすべきと思っています）	①健康保険証だけに	①廃止期限の見直し公約を盛り込む